

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

# 畜産協会だより

Vol.26

発行  
一般社団法人 青森県畜産協会

## 第11回定時総会を開催

本協会の第11回定時総会が去る6月20日に青森市の「ラ・プラス青い森」で開催され、平成25年度の事業報告及び収支計算書類第2号議案の平成26年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法、第3号議案の平成26年度事業計画及び収支予算の報告、第4号議案の平成26年度の役員報酬、第5号議案の肉用子牛補給金業務規程の一部変更についてが原案どおり承認されました。

また、第6号議案の役員の補欠選任については、青森県農業共済組合連合会理事の竹内広之氏が理事に選任されました。



仮議長を務める渡部会長

### 〈平成26年度の重点項目〉

#### 1 経営支援対策

- (1) 畜産経営の安定と生産性向上を図るため、生産技術の支援及びインターネットによる情報の配信などの総合支援
- (2) 肉用牛肥育経営安定特別対策（通称：マルキン）の推進
- (3) 家畜排せつ物の耕種農家の土づくり促進と連携した利用促進
- (4) 公共牧場の有効利用と地域資源を活用した自給飼料の確保推進
- (5) 県産畜産物の普及推進

#### 2 価格安定対策

- (1) 肉用子牛生産者補給金制度及び関連事業の推進
- (2) 肉用牛経営安定対策補完事業の推進（肉用牛ヘルパーの推進等）
- (3) 養豚経営安定対策事業の普及推進

#### 3 家畜衛生対策

- (1) 家畜伝染病の発生・流行の防止のためワクチン接種の推進及び家畜防疫互助事業への加入推進
- (2) 牛海綿状脳症（BSE）対策特別措置法に基づく24月齢以上の死亡牛検査の推進及び牛の検査材料保冷施設の運営

# 生産者補てん金 交付状況

## 1.肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		329,000円	300,000円	215,000円	128,000円	195,000円
合理化目標価格		275,000円	253,000円	145,000円	87,000円	143,000円
平成26年度 第1四半期 (4月～6月)	平均売買価格	558,400円	479,200円	301,800円	145,600円	299,300円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

## 2.肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		420,000円	380,000円	280,000円
保証基準価格		329,000円	300,000円	215,000円
平成26年度 第1四半期 (4月～6月)	平均売買価格	558,400円	479,200円	301,800円
	交付単価	—	—	—
	交付額	—	—	—

## 3.養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
平成26年度 第1四半期 (4月～6月) 概算	42,422円/頭	35,491円/頭	0円/頭

# 新マルキン事業補填金交付の概算払方式について

平成26年4月から補填金単価の算定に利用する配合飼料価格安定制度の価格差補填額の決定時期が四半期ごととなったことから、新マルキン事業では四半期の最終月以外を概算払単価で交付することとなった。4、5月期販売分は概算払を実施し、6月期精算払と併せて4、5月期の差額分を精算払することとなる。補填金単価（確定値）の公表は8月上旬を予定している。

また、平成26年2月の豪雪による被災農業者への支援対策として、積立金納付の免除等の措置がとられたが、この免除牛に対する補填金単価（概算払）は通常の4分の3の額となる。

### 新マルキン事業補填金交付状況

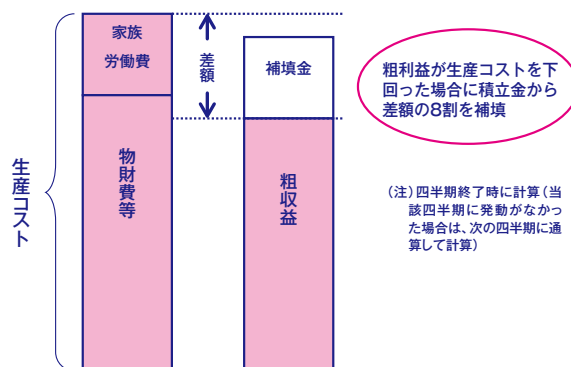
	肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成26年4月期	補填金単価（概算払）	32,700円	40,300円	平成26年6月25日
	積立金免除牛に係る補填金単価（概算払）	24,500円	30,200円	

# 養豚経営安定対策事業 補填金算出のしくみ

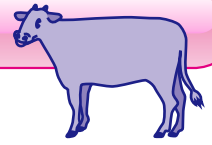
養豚経営安定対策事業の補填金は、四半期ごとに生産コストと粗収益を算出し、その差額の8割を補填する事業です。

ただし、補填金交付がなかった場合は、次の四半期に通算して計算することとなっています。

しかし、通算する期間の最大は1年間となっていますので、平成25年度は一度も補填がありませんでしたが、25年度から通算するわけではなく、今回も補填金の交付はなかったため、次回も通算して算出されることとなり、4月から3月まで1年間の生産コストと粗収益が計算され、補填金の単価が決定することとなります。



# 青森県家畜市場成績（七戸）



## 子牛 市場成績表

【開催日 26年6月13日】 <速報値>

### 1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	330	817,560	227,880	588,250	300	327	1,801	359	575,550	1,820	-19
	雌	219	729,000	203,040	485,892	307	297	1,635	263	468,030	1,627	8
	【小計】	549	817,560	203,040	547,418	303	315	1,739	622	530,087	1,743	-4
日本短角種	雄											
	去	2	216,000	216,000	216,000	291	265	815	1	267,840	829	-14
	雌	1	216,000	216,000	216,000	289	250	864				
	【小計】	3	216,000	216,000	216,000	290	260	831	1	267,840	829	2

・黒毛和種の取引頭数は549頭で、前回より去勢29頭減、雌44頭減、全体で73頭減となった。  
 ・黒毛和種の平均価格は547千円で、前回より去勢13千円高、雌18千円高、全体で17千円高となった。

### 2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	98	602,442	328	1,839	300	71	498,184	303	1,647	304	169	558,641	1,762	302	30.8
安茂勝	42	578,391	329	1,756	297	38	471,647	302	1,562	312	80	527,688	1,668	304	14.6
百合茂	21	643,474	337	1,912	299	10	532,548	303	1,759	317	31	607,692	1,866	305	5.7
優福栄	9	528,840	324	1,631	312	20	455,976	282	1,619	304	29	478,589	1,623	306	5.3
安福久	18	588,420	324	1,819	300	5	570,672	298	1,912	324	23	584,562	1,838	305	4.2
光平照	13	638,031	334	1,910	296	8	517,050	306	1,688	319	21	591,943	1,830	304	3.8
総合計	29	588,250	327	1,801	300	22	485,892	297	1,635	307	51	547,418	1,739	303	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で30.8%、次いで「安茂勝」14.6%となった。  
 ・第一花国の平均価格は559千円で、前回に比べ22千円高となった。単価は1,762円で前回より3円高となった。

【開催日 26年7月11日】 <速報値>

### 1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	293	878,040	375,840	581,810	296	321	1,814	331	588,316	1,801	13
	雌	207	761,400	197,640	508,195	305	294	1,728	218	486,045	1,636	92
	【小計】	500	878,040	197,640	551,334	300	310	1,780	549	547,706	1,739	41
乳用交雑種	雄											
	去	9	633,960	486,000	532,320	298	315	1,691	10	560,088	1,877	-186
	雌	1	294,840	294,840	294,840	298	296	996				
	【小計】	1	294,840	294,840	294,840	298	296	996				

・黒毛和種の取引頭数は500頭で、前回より去勢38頭減、雌11頭減、全体で49頭減となった。  
 ・黒毛和種の平均価格は551千円で、前回より去勢7千円安、雌22千円高、全体で4千円高となった。

### 2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	99	599,891	319	1,878	296	69	510,167	297	1,719	306	168	563,040	1,815	300	33.6
安茂勝	33	558,589	329	1,697	297	31	489,797	295	1,658	304	64	525,268	1,680	300	12.8
安福久	23	551,880	318	1,738	301	7	663,274	307	2,164	303	30	577,872	1,835	302	6.0
美津百合	15	538,920	312	1,728	297	12	472,230	285	1,655	314	27	509,280	1,697	304	5.4
優福栄	12	545,310	313	1,741	302	10	489,564	277	1,765	290	22	519,971	1,751	297	4.4
百合茂	16	639,968	328	1,949	285	4	645,840	316	2,044	306	20	641,142	1,968	289	4.0
総合計	293	581,810	321	1,814	296	207	508,195	294	1,728	305	500	551,334	1,780	300	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で33.6%、次いで「安茂勝」12.8%となった。  
 ・第一花国の平均価格は563千円で、前回に比べ4千円高となった。単価は1,815円で前回より53円高となった。

次回開催日は8月8日（金）です。

## 平成26年度 家畜衛生表彰者

本協会では、地域の生産者や指導者の中から功労のあった方々を表彰しています。

### 東青地区



#### 佐藤 昌勝 (さとう まさかつ)

農場は、父親の佐藤昌憲氏が昭和48年に乳用牛15頭飼養の酪農に始まり、その後、乳用雄牛育成、肉用牛雌肥育、交雑種肥育を経て、平成16年には青森市から肉牛繁殖牛の払い下げを受け肉用牛10頭の繁殖経営に移行、徐々に飼養頭数を増やし、現在は繁殖牛32頭を飼養する東青地域では最大規模の肉牛繁殖経営農家となっている。

平成16年頃から妻や両親とともに肉牛経営に携わり、平成18年には家畜人工受精師免許を取得、自ら人工授精を行い平均受精回数1.2回と優れた受精技術により良好な繁殖成績を上げている。

また、平素から細やかな飼養衛生管理と発情チェックや牛へのストレス軽減のため飼料の定時給与、牛舎をすべて手作りで行うなど肉牛生産の低コスト化、ゆとりある牛舎環境での飼養管理を実践している。さらに、日頃から繁殖雌牛の育種改良について講習会研修会に参加するなど研鑽に励み、地域の肉用牛振興のリーダーとして将来を期待するものである。



#### 藤本 正人 (ふじもと まさひと)

平成6年に蓬田村に奉職以来、今日まで一貫して農林・水産振興に関わる技術及び経営指導を行い、高齢者の多い畜産農家等への親身な対応は農業経営継続の大きな支えとなっている。

また、家畜衛生に対する意識が非常に高く、同村で大きな産業である養鶏産業において長年懸案となっていた大規模養鶏場での鳥インフルエンザ発生時の埋却地確保について、国有地である同村営放牧場を埋却地として使用可能となるよう再三にわたり農林水産省青森森林管理署と交渉してきたところである。

その結果、平成25年3月には全国に先駆けて村と森林管理署による埋却地利用に関する協定を締結したことは大きな功績である。

さらに、同村を会場とした平成25年度東青地区重要家畜伝染病演習では率先して演習会場の手配から実際に使用予定となっている集合施設や埋却場所、消毒ポイントの現場確認の先導役となった。この演習は現場での初の演習であり関係者が有事における初動防疫対応を実地に体験、確認できたことは地域の危機管理体制の確立に大きく寄与した。

### 三八地区



#### 大久保雅範 (おおくぼ まさのり)

昭和40年に黒毛和種繁殖牛1頭を導入し、肉用牛経営を始めた。現在は葉たばこの生産の傍ら、黒毛和種の繁殖牛4頭を飼養し、地域の特性を生かし放牧を取り入れた優良子牛の生産に努め、常に安定した経営を維持している。

また、平成11年より袖平牧野畜産農業協同組合の組合長の要職を務め、放牧を活用した地域の肉用牛振興と地域一帯となった和牛の改良に対し、地域のリーダー的存在として大いに貢献している。



#### 足沢 昭広 (たるさわ あきひろ)

祖父の代より始めた酪農を引継ぎ本格的に酪農に従事し、乳牛の特性を生かした酪農経営に取り組んできた。

現在は乳用牛45頭を飼養し、毎年、県乳用牛共進会に数多く出品するなど優良雌牛の生産に努めており、乳用牛の飼養管理技術は、他の模範となっており地域のリーダー的存在として畜産振興に貢献している。

また、八戸農業協同組合酪農専門部会の役員を務めるなど管内の酪農の発展にも大いに貢献している。

## 上十三地区



### 大森 敏雄 (おおもり としお)

昭和47年飼養頭数約60頭で家業の酪農を引き継いだ。平成21年に搾乳ロボット2台を備える最大規模・最新設備を備えた牛舎を建築し、飼養頭数は経産牛260頭、未経産牛60頭、育成牛80頭に規模拡大した。

出荷乳量は2,324 tで、大規模酪農家が多いゆうき青森農業協同組合管内でも、県内においても乳量最大出荷を誇る。

毎年の共進会では常に上位入賞やチャンピオン賞を受賞し、また第31回全国酪農経営体験発表会では優秀賞・特別賞を獲得するなど優秀な成績を収めている。

また、農協役員や六ヶ所村の農業委員を平成2年から勤めるとともに、今後の目標としては、青森の酪農を守り地域経済の発展のために共同経営を目指している。



### 苔米地 隆 (とまべち たかし)

昭和51年に北里大学畜産学部卒業後、旧十和田湖町農業共済組合家畜診療所に勤務し、昭和52年に村山家畜診療所に勤務後、昭和53年4月から六日町家畜診療所を開設し現在に至る。

大動物、特に乳用牛を中心とした診療に携わり、昭和57年には家畜防疫員と青森県家畜畜産物衛生指導協会の指定獣医師となり、家畜伝染病の発生予防に係る予防注射事業に従事するとともに、平成13年から青森県家畜人工授精師協会上十三支部長及び平成18年からは青森県家畜人工授精師協会長の要職を現在まで勤め、家畜改良並びに畜産振興に大いに貢献した。

## むつ地区



### 澤谷 航一 (さわや こういち)

昭和55年4月市内にある動物診療所に8年間勤務し、平成元年9月に現在の横浜町に動物病院を開業、通算33年間、産業動物診療獣医師として現在に至る。

その間の業績として、平成7年8月に「性別別卵で受精卵移植を実施し高確率の受胎と出産に成功」、平成8年3月には「クローン牛の双子出産に協力」をした経験を持っている。(一社)青森県畜産協会の指定獣医師として日頃より地域の獣医療の向上及び家畜伝染病予防並びに家畜衛生の普及向上に尽力されている。

## 津軽地区



### 小山 政弘 (こやま まさひろ)

昭和44年から深浦町役場職員として地域行政に従事され、農林課畜産係に配属となった平成13年から定年退職される平成19年までの6年間は、改良事業の推進や家畜保健衛生所が行う家畜防疫指導の円滑化等、町の畜産振興に貢献されてきた。

また、退職後は深浦畜産農業協同組合事務局として同組合の木村組合長を補佐する傍ら、特に高齢化が進む町内畜産農家のため、子牛登録申請や市場上場等に係る事務手続きの窓口や、県事業の取りまとめ役として尽力されてきた。さらに「深浦牛」のブランド化にも取り組んでいる同町では、中核施設である町営追良瀬放牧場において年間70頭の肥育牛を生産し販売してきたが、平成25年6月に同組合が同牧場の管理を任されたことから、その運営と活用も新たな職務として加わっている。

このように、これまでの功績は、深浦町の畜産振興において高く評価されるものであるのみならず、同町の今後の畜産発展のためにも不可欠な存在となっている。

## 稲発酵粗飼料SGSに期待の声



6月13日、青森県家畜市場の来場者を対象に、稲SGSのモニタリング調査を行った。これは、当協会が県畜産課より委託を受けて実施しているもので、今後のSGS普及の可能性等について調査している。

稲SGSのサンプル（9kg袋）を希望者へ無償配布したところ、四十数名の生産者が興味を示し持ち帰った。稲SGSは肉用牛肥育では約20%程度を配合飼料の代替として利用出来ることが分かっている。生産者からは「使ってみて良かったら今後の利用を考えてみたい」とSGSに期待する声が寄せられていた。後日、給与してみた感想をアンケートに記入し畜産協会に返送することになっている。アンケートの回答について、後日とりまとめ畜産課へ報告する。

(SGS：ソフトグレンサイレージ)

## 大雨の中、堆肥展示即売会を開催！



6月12日、13日の2日間、株式会社みちのくくボタ木造支店において「元気農業フェア」に参加し、津軽地域の耕種農家に対して畜産堆肥の展示、PRを行った。両日ともに大雨に見舞われたが、りんごや畑作農家の方たちにサンプルの堆肥を配ると喜ばれ、堆肥の使い方や肥料効果等について質問されることがあった。また、当日は堆肥生産者も参加し、自ら堆肥のPRを行っていた。

## あおもり短角牛PR販売イベント

6月28日、あおもり短角牛を地域産品として販売している十和田市の道の駅「とわだぴあ」で、短角牛の試食販売会を実施した。主催したあおもり短角牛地産地消推進協議会（事務局：畜産協会）では今年度、上北管内における地域消費者に対する短角牛の知名度向上や定着を図ることを目的に、毎月定期的に同道の駅で試食販売を実施することとしている。当日は十和田市のB級グルメである短角牛のバラ焼きを試食として提供し、パネル展示やリーフレットの配布などPRを図った。

## 青森シャモロック試食販売会 開催



青森シャモロックの消費拡大を目的としたセールスプロモーションを実施した。

6月28日、十和田市の道の駅「とわだぴあ」において試食やパンフレットの配布を行った。当駅ではシャモロックの燻製やガラ、ラーメン、プリンなど多数の商品を販売している。来店者からは、「商品があるのは知っていたが食べたことがない」「値段が高め」などの意見があったが、試食したあとは「美味しい」と好評で購入する消費者も見られた。今後はメニュー提案などを行いながら定期的に消費者へ向けたPR活動を実施する。

## 平成26年度畜産経営支援体制確立事業に係る研究会と委員会の開催

平成26年7月1日（火）ラ・プラス青い森で平成26年度畜産経営支援体制確立事業（個別指導、地域支援指導）に係る研究会（県畜産協会主催）並びに推進委員会（県畜産課主催）を県・関係機関、関係団体計30名の出席をいただき合同で開催した。

研究会では、県委託事業である確立事業の平成25年度事業実績と平成26年度事業計画を説明後、県内2か所に設置している地域畜産相談窓口での主な相談内容と豚流行性下痢（PED）に関する経営相談窓口を6月18日当協会に設置したことを報告した。

また、引続き開催した推進委員会では畜産課の各グループが本年度の重点事業推進のための説明を行った。

## 「あおもり大畜産まつり」に出展



平成26年6月27～29日の3日間、青森県観光物産館アスパムにおいて、「あおもり大畜産まつり」が開催された。

「あおもりたまごかけごはんまつり」と同時に開催したこの大畜産まつりは今年が初めての開催で、当協会では事務局を持つ青森県養蜂協会として出展し、養蜂協会会長である鳥谷部養蜂場のはちみつやローヤルゼリー等蜂産品を販売した。

1匹だけ入れた女王蜂を探して見つけてもらう「透明巣箱の展示」が非常に好評で、子供から大人までたくさんの人が巣箱の中の女王蜂を探しに足を止めていた。

また、蜜蝋を溶かして作る「みつろうキャンドル」の作成実演を行い、女王蜂を見つけることができた人や、蜂蜜を購入したお客様にプレゼントした。

このキャンドルの作成実演も好評で、急遽希望す

る子供たちに作製体験もしてもらい、できたキャンドルをプレゼントした。

県産はちみつのPRの場として非常に良いものとなった。

## 豚流行性下痢（PED）に関する 経営相談窓口の設置について

本県でのPEDの発生に伴う、被害を受けた養豚生産者の経営指導等を行うため、「豚流行性下痢に関する経営相談窓口」を設置しました。

### 1. 業務内容

- (1) 経営指導、支援事業に関すること
- (2) 制度資金の借り入れ等に関すること
- (3) 各種情報の提供に関すること
- (4) その他、経営再建に必要な事項に関すること

### 2. 設置期間

平成26年6月18日から9月末日まで



<相談窓口はこちらへ>

一般社団法人 青森県畜産協会 経営支援課

〒030-0822 青森市中央2丁目1番15号 青森県畜産ビル2F

電話 017-723-2775 FAX 017-731-1196

## 第11回 青森県肉用牛・乳用牛共進会の開催

主催

青森県畜産農業協同組合連合会  
全国農業協同組合連合会 青森県本部

開催期日

平成26年  
9月6日(土)

開催場所

青森県上北郡七戸町字鶴児平72-1 青森県家畜市場 構内

## 第8回 あおもり堆きゅう肥品評会の出品堆肥を募集します。

出品対象

家畜ふんを主原料とした堆きゅう肥

受付期間

平成26年9月1日～9月30日

出品に必要なもの

- (1) 堆肥 500g×2袋
- (2) 出品確認書
- (3) 成分分析表

問い合わせ先

上北地域県民局 農業普及振興室 担当 渋川 0176-23-4281



## あおもりマルシェに出店します！！

青森シャモロックが新青森駅で開催されている「あおもりマルシェ」に出店します。シャモロック商品の販売や、無料ふるまいの“丸焼きショー”（予定）もありますので、お楽しみに♪

開催期日

平成26年9月21日(日) 9:00～14:00

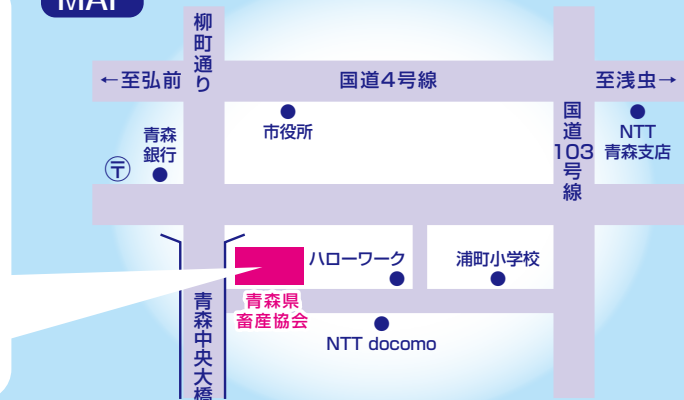
場所

新青森駅前公園 (青森県青森市大字石江字高間)

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)  
経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課

Tel(017)722-4331(衛生)  
Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail [info@aomori.lin.gr.jp](mailto:info@aomori.lin.gr.jp)